

## 平成29年度 学校経営計画

○学校の基本構成 児童数52 学級数5 職員数16

○児童・地域の実態

児童は、豊かな自然と学校教育に協力的な地域・保護者・祖父母に支えられ明るく健やかに育っている。素直で優しく、勤労奉仕的な活動を厭わない。学習規律、家庭学習の習慣は積み上げられてきているが、主体的に追求する態度や活用力はさらに育成の必要が感じられる。学力の個人差も見逃せない。児童数の通減が続き、本年度は複式学級が編成され、次年度は統合を控えている。

### 1 経営理念

学校は、	教職員は、
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの意欲を喚起し、学んだ充実感を味わわせる</li> <li>・学校や地域を大切に思うとともに、未来（統合校）の創造に意欲を持つ子を育てる</li> <li>・保護者、地域、関係機関と連携し、家庭、地域の信頼に応える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の三機能を基盤に子どもの自己実現を支援する</li> <li>・自己の指導力を高めるとともに、学び合う</li> <li>・チームとして協働し、組織力を高める</li> </ul>

### 2 教育目標 市の重点目標 未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

知・徳・体のバランスのとれた意欲的で自立した「波佐谷っ子」を育てる  
～かかわり合い、学び合い、高め合い～

児童像〈校訓〉	学ぶ子（知） 自ら意欲的にかかわり合い、学び合い、高め合う子 やさしい子（徳） 礼儀正しく、思いやりがあり、正直な子 働く子（体） 健康な体と心を持ち、最後までやりぬく子
---------	---

### 3 本年度の目標と取組（重点項目は太字） ◎は「いしかわ学びの指針12か条+」

項 目	目 標	主な方策・取組
(1) 組織的な学校運営	①運営機構の適正化・効率化	・三者会、実行委員会が機能する運営機構の編成と運用
(2) 指導力の向上	①学校研究の成果を1つでも実感 ②次期学習指導要領を念頭に置いた指導改善	・具体的で全校的な取組 ・授業改革（主体的、対話的で深い学び） ・取組の見える化と検証
(3) 学力の定着・向上	①基礎学力の定着と活用力の向上を図る ◎2、3、6、8、10 ②児童に応じた適切な手だてと個別支援	・根拠、筋道を立てた説明、条件に合った説明の力をつける指導 ・授業と家庭学習（自学）の連動性 ・管理職等による個別学習支援
(4) 生徒指導	①積極的な生徒指導の推進 ②安全指導の充実	・あいさつ指導 ・児童会の取組 ・ひだまり週間 ・交通安全教室の充実 ・安全マップ作成と活用
(5) 特別支援教育	①通常学級における支援の推進	・早期対応、関係機関との連携
(6) 道徳教育	①特別の教科道徳への最終準備	・授業改善と評価方法の研究・試行
(7) 読書教育	①読書習慣の育成	・不読者へのアプローチ、読書指導
(8) キャリア教育	①母校への感謝と誇り、新しい学校への期待を醸成 ②豊かな心、生涯にわたる素養の基礎づくり	・集会講話、特別活動、行事等の工夫、地域人的物的資源の活用 ・俳句、百人一首の奨励 ・学外人材の活用
(9) 保健健康教育	①体育指導と体力向上 ②健康な体づくり	・体力アップ1校1プラン ・スポチャレいしかわ、体力テスト ・姿勢や視力の健康意識向上の取組
(10) 情報教育	①情報活用力 ◎7 ②情報モラル教育	・教師、児童のICT活用 ・小中連携の取組
(11) 家庭・地域社会との連携	①家庭・地域に開かれた学校の推進 ◎12	・学校の各種取組との連携 〔あいさつ、読書、自学、環境保全、生活習慣、情報モラル等〕 ・閉校行事および統合に向けての実行委員会事務局の運営